

第8章

行財政運営

効率的・効果的な行財政運営により 総合計画を進めます

第1節 行政経営

限られた資源を有効活用しながら、
戦略的かつ自立(自律)的な行政経営を行うまち

- 8-1-1 総合計画の実現に向けた計画行政の推進
- 8-1-2 行政経営の考え方に立った改革の継続
- 8-1-3 自治体間の連携の推進
- 8-1-4 組織体制の整備・充実
- 8-1-5 ICTを効率的に活用した市民サービスの向上

第2節 財政運営

歳入の確保と適正な歳出によって、
健全な財政運営を行うまち

- 8-2-1 計画的な財政運営
- 8-2-2 財源の確保
- 8-2-3 受益と負担の適正化
- 8-2-4 財務の透明性の確保

第3節 情報の共有と 市民参加

わかりやすい情報発信により市と市民が情報共有し、
お互いを尊重して対話のできるまち

- 8-3-1 市政情報の共有の推進
- 8-3-2 市民参加の推進



分野別の主な計画

計画名	計画期間	計画概要
所沢市第5次 行政改革大綱『「行政経営」 有言実行宣言』 (経営企画課)	平成24(2012)年度 ～平成27(2015)年 度の4年	市が取り組む行政改革の指針及び計画で す。行政経営の視点に立ち、職員一人ひと りが主体的に取り組むことを重視し、改革 内容の数値目標や実施年度を具体的に示し ています。
第2次埼玉県西部地域 まちづくり計画 (ダイアプラン) (企画総務課)	平成23(2011)年度 ～平成32(2020)年 度の10年	所沢市、飯能市、狭山市、入間市で構成す る「埼玉県西部地域まちづくり協議会」に より、近接した4市が地域の特性を活かし たまちづくりの推進や、共通課題に対し協 力して取り組むことにより大きな成果をあ げることがめざして策定された計画です。
所沢市定員管理計画 (第3次所沢市定員適正化 計画・第2次所沢市民間 委託化推進計画) (経営企画課)	平成27(2015)年度 ～平成31(2019)年 度の5年	行政経営の視点に立ち、適正な職員定員の 管理、効果的な委託化の推進に取り組むた めの計画です。
所沢市特定事業主 行動計画《第3次》 (職員課)	平成27(2015)年度 ～平成32(2018)年 度の5年	次世代育成支援対策推進法に基づき、職員 の仕事と子育ての両立支援のため策定する 計画です。
所沢市ICT推進 アクションプラン 2015-2018 (IT推進課)	平成27(2015)年度 ～平成30(2018)年 度の4年	ICT を利活用して、市民が利便性を実感で きる電子市役所の実現を目標に、更なる市 民サービスの向上や業務の簡素化、効率化 を目的とした各システムの行動計画です。
中長期財政計画 (財政課)	平成23(2011)年度 ～平成30(2018)年 度の8年	市税収入をはじめとする歳入の予測及び各 種計画と連携した歳出の見通しを中長期的 な視点から示し、計画的な財政運営を推進 するため策定された計画です。



第1節

行政経営

限られた資源を有効活用しながら、
戦略的かつ自立（自律）的な行政経営を行うまち

現状・これまでの主な取り組み

- 「総合的に取り組む重点課題」を適正に進行管理しています。
- 所管での評価に加え、市民参加による評価事業を行い、外部の視点による事業の点検を行っています。
- 今後の公共施設のあり方を示す基礎的な指針として、方針を定めました。
- 「所沢市第5次行政改革大綱^{*}」に基づいて「有言実行で元気の出る行革」に取り組んでいます。
- 県とのヒアリングを重ねて、県から権限移譲^{*}の可能な業務の受け入れを進めています。
- 近隣自治体との連携では、埼玉県西部地域まちづくり協議会における公の施設の相互利用の推進、各分野の共通課題の調査・研究を行っています。
- 民間委託化等の推進や組織体制の見直しにより、適正な定員管理に取り組んでいます。
- 公務運営の能率向上と組織の活性化等に貢献する人材を確保するため、民間企業等経験者を対象とした職員採用を行っています。
- 「基幹情報システム更新計画」に基づき、汎用機からオープンシステム^{*}への移行を行いました。



「みんなで考える市の仕事」事業

課題

- 総合計画の実現に向けて、全庁的・総合的な課題解決のためのしくみを充実させる必要があります。
- 合理的かつ効果的な市政を進めていくための所沢市マネジメントシステム（TMS）に継続的に取り組むことが必要です。
- 公共施設のマネジメントが必要で、
- 複雑・多様・多量化する行政課題や市民サービスに対応する必要があります。
- 少子高齢化問題への対策や防災体制・観光施策の強化等について、スケールメリットを活かし、近隣自治体を含む他自治体と共同で取り組んでいく必要があります。
- 新たな重要課題に対応していくための組織体制が必要です。
- 改革意欲があり、問題意識を持って課題解決に挑戦しようとする職員の継続的な育成が必要です。

^{*}行政改革大綱…総合計画の推進のために、限られた財源、職員、施設を有効活用することにより、自立（自律）的な行政経営を行う当市の行政改革の指針。取り組むべき改革項目、実施目標等を定めている。
^{*}権限移譲…地域住民の意向を反映した主体的な意思決定や地域の特色を活かした行政の展開を図るため、従来、国や都道府県が担っていた権限を市町村に移し、移譲先の市町村において事務処理を行うことが出来るようにすること。
^{*}オープンシステム…複数の業者が製造販売し、仕様が統一、標準化されているシステムのこと。標準化されていることから、システム同士の相互運用性や互換性が高い。



基本方針

◆8-1-1

総合計画の実現に向けた 計画行政の推進

総合計画に掲げる「まちづくりの目標」の施策の進捗を管理し、「総合的に取り組む重点課題」の取り組みを進めるための体制を充実させます。総合計画は、社会情勢などの変化により必要が生じた場合、見直しを行います。

また、新たな重要課題については、横断的に取り組む仕組みを充実させます。

また、より合理的かつ効果的に市政を進めていくために、企画立案・予算化・実施・評価検証など一連の市政運営は、PDCAのサイクルにより、所沢市マネジメントシステム（TMS）の仕組みに沿って進めます。

さらに、公共施設の老朽化や人口構成の変化を踏まえ、「所沢市公共施設マネジメント方針」に沿って、新たな考え方による施設配置を進めます。

◆8-1-2

行政経営の考え方に立った 改革の継続

前例に捉われず、徹底した事業・経費の見直しに努め、効果的・効率的な行政運営を推進します。

また、権限移譲について、市民の利便性や行政の効率性の向上が見込まれる事業の受け入れを推進します。

◆8-1-3

自治体間の連携の推進

近隣自治体を含む他自治体との情報交換を実施することにより、市民サービスの内容を点検し、連携による内容の充実を図ります。

◆8-1-4

組織体制の整備・充実

社会情勢の変化や増大する事務量に柔軟に対応するために組織整備を図るとともに、所管部署を越えた臨時組織や職員の応援体制の活用、民間活力の利用などにより適正な定員管理に努めます。

また、長期的な展望のもと、職員の採用を実施するとともに、職員研修の充実を図ることに加え、高度な政策形成能力を持つ人材の育成をめざします。

さらに、職員の能力を十分に活用できるような環境整備も行います。



職員研修

◆8-1-5

ICTを効率的に活用した 市民サービスの向上

ICT※（情報通信技術）の活用及び推進により、行政サービスの迅速な提供に努め、市民の利便性向上、負担軽減を図ります。実施にあたっては、費用対効果を検証し、費用の縮減・行政運営の効率化を図ります。

また、利便性と安全性の両者を見据えて、情報セキュリティ対策を講じていきます。

※ICT…コンピュータなどの情報技術及びインターネットなどの通信に関する技術を合わせた形のこと、情報通信技術という。




計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
総合計画に掲げた 目標指標の達成率	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		89	100	100	100	100		

説明：総合計画の目標の達成度を示す指標です。
 現状値は、総合計画基本計画の「総合的に取り組む重点課題」、「まちづくりの目標」に掲げる目標指標の平成25年度の達成率をまとめたものです。
 目標値は、毎年度100%をめざすものです。

関連する基本方針 8-1-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
行政改革大綱 『行政経営』有言実行宣言 に掲げた目標の達成率	%	H24	H27	H28	H29	H30		
		66.7	100.0	70.0	80.0	90.0		
		(第5次行革大綱)		(第6次行革大綱)				

説明：行政改革への取り組み状況を示す指標です。
 現状値は、第5次行政改革大綱『行政経営』有言実行宣言（H24～H27）に掲げた項目の平成24年度の達成率です。
 目標値は、第6次大綱（H28～H31）の最終年度における100%達成に向け、平成30年度までに90.0%をめざすものです。
 ※第6次大綱の策定時に新たな年次目標等を設定するため、いったん目標値が下がります。

関連する基本方針 8-1-2

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
窓口サービスへの 市民の満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		96.6	100	100	100	100		


説明：第5次行政改革大綱の実施目標に掲げた「超親切な市役所・さわやか市役所の推進」の成果を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の窓口サービス満足度アンケートの総合評価で、「よい」「ややよい」と答えた人の割合です。
 目標値は、毎年度100%をめざすものです。

関連する基本方針 8-1-2



「有言実行発表会」



指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加	
			H25	H27	H28	H29		H30
相互利用施設利用者数	人		H25	H27	H28	H29	H30	
		505,447	507,000	508,000	509,000	510,000		

説明：自治体間の連携によるサービスの充実の度合いを示す指標です。
 現状値は、平成25年度の近隣4市（所沢市、飯能市、狭山市、入間市）の相互利用施設の利用者数です。
 目標値は、毎年度1,000人の増加をめざすものです。

関連する基本方針 8-1-3

指標名	単位	現状値	年度別目標値				維持
			H27	H28	H29	H30	
仕事に「やりがい」を感じる職員の割合	%	-	H27	H28	H29	H30	
		-	80	80	80	80	

説明：職員が能力を十分に発揮できる環境の充実度を示す指標です。
 職員の意識調査で、やりがいを感じていると回答した職員の割合です。
 目標値は、毎年度80%以上をめざすものです。

アンケート
○
×
○

関連する基本方針 8-1-4

教えて！
トコロん

公共施設マネジメントって、なあに？



市にある公共施設の多くは、昭和40～50年代に建設されたものであり、老朽化が進んでいるのをご存知でしょうか。

また、高齢化の進展や若い世代の人口の減少などにより、市民が求める公共施設の機能やあり方が、建設当初と現在では異なってきています。

「公共施設マネジメント」とは、公共施設の現状や市民のニーズを把握し、

今ある施設を持ち続けるのかどうかを検討するとともに、持ち続ける場合にはできる限り効率的に運営していこうとするものです。

施設の老朽化や人口構成の変化に伴い、その必要性が高まっています。



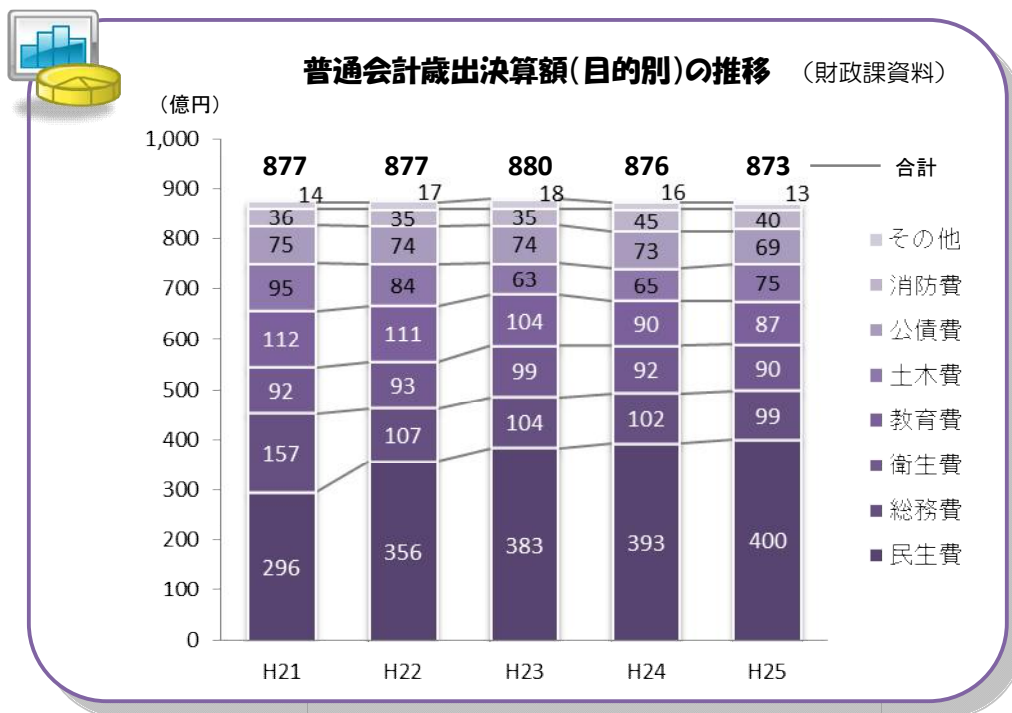
第2節

財政運営

歳入の確保と適正な歳出によって、健全な財政運営を行うまち

現状・これまでの主な取り組み

- 総合計画における実施計画、また、行政評価の結果を勘案して予算編成を行っています。
- 中長期財政計画を策定し、毎年度ローリング*を行っています。
- 納税推進員による納付勧奨を実施するとともに、コンビニ収納**や夜間、休日の収納窓口の開設などにより、収納率向上に努めています。



課題

- 財政状況は引き続き厳しいことから、中長期財政計画と十分に整合を図りながら、さらなる行政経費の削減が必要です。
- 適正な受益者負担と、収納率の向上を図ることが必要です。

*ローリング…中長期の計画を定期的に見直し、部分的に修正を加えていくこと。
 **コンビニ収納…税金などの支払いをコンビニエンスストアで行うこと。



基本方針

◆8-2-1

計画的な財政運営

聖域なき経費削減と業務見直しによる歳出削減を行い、財源の効果的な配分に努め、中長期財政計画を基に、計画的で健全な財政運営に取り組みます。

◆8-2-3

受益と負担の適正化

公平性を確保するため、使用料や手数料などの受益と負担を明確にし、受益者負担の原則に基づき負担の適正化に取り組みます。

◆8-2-2

財源の確保

市税収入等の収納率向上に努めるとともに、市有財産の有効活用を図ります。

また、国・県の補助金等を積極的に活用するとともに、後年度負担に配慮した地方債の活用にも努めます。

◆8-2-4

財務の透明性の確保

財務情報の公開を、市民にわかりやすい形態で、さまざまな媒体を活用して進めるとともに、公正で能率的な運営と適正な執行を行い、財務の透明性を確保します。

📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値				維持
			H25	H27	H28	H29	
経常収支比率*	%	H25	H27	H28	H29	H30	➡
		94.0	94.0%以下				

説明：財政の健全化への取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の状況です。
目標値は、毎年度94.0%以下の維持をめざすものです。

関連する基本方針 8-2-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値				維持
			H25	H27	H28	H29	
実質公債費比率*	%	H25	H27	H28	H29	H30	➡
		3.2	6.0%以下				

説明：財政の健全化への取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の状況です。
目標値は、毎年度6.0%以下の維持をめざすものです。

関連する基本方針 8-2-1

※経常収支比率…毎年度支出される人件費や扶助費、公債費などの経常経費に充当された一般財源の額が、毎年度収入される市税や普通交付税などの経常一般財源に占める割合を示し、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。
※実質公債費比率…地方自治体における実質的な借金返済の負担の重さを表す指標で、一般会計等が負担する市の借金の返済額と公営企業などの借金返済に充てられる一般会計の負担額等の合計額が、標準財政規模に占める割合を示す。過去3カ年の平均値で表す。



第3節

情報の共有と市民参加

わかりやすい情報発信により市と市民が情報共有し、
お互いを尊重して対話のできるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 市民の意向を把握するため、市民参加や情報提供に関する調査を市民意識調査に盛り込んでいます。
- 率先した活動を行っている市民団体や先進的な取り組みを行っている事業者等の現場を市長が訪問し、活動成果等を聴くとともに、その活動を広く市民へ紹介していく「市長の“こんにちは訪問”」を実施しています。
- 報道機関への積極的な情報提供に努めるとともに、新たにメールやツイッター、フェイスブックによる情報発信を開始しました。
- 市民参加等に関する条例の制定に向けた検討を行いました。



市長の“こんにちは訪問”



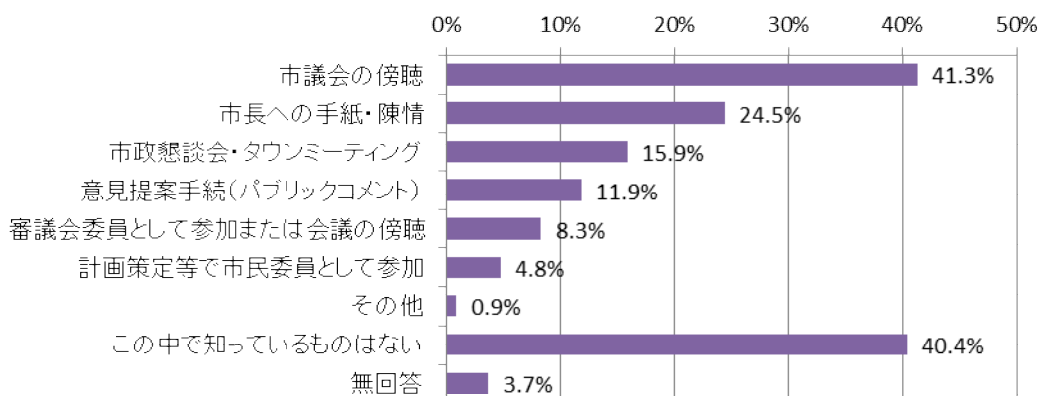
フェイスブックのトップページ画面

課題

- 多様化する市民ニーズを的確に把握する必要があります。
- 常に新たな情報発信手段に対応する必要があります。
- 幅広い世代の市民が市政に参加できるような工夫が必要です。



市民参加のしくみのうち、知っているものはどれですか。（平成25年度市民意識調査）



基本方針

◆8-3-1

市政情報の共有の推進

市民からの市政に関する意見や提案を聴くさまざまな機会を設け、市民ニーズを把握して行政サービスに反映します。また、多様な媒体を活用し、幅広い世代に市政の情報をわかりやすく、効果的に発信します。

◆8-3-2

市民参加の推進

各種審議会や市民検討会議などによる市民参加を進めます。

いろいろな場面で、市民参加が進んでいます！



総合計画後期基本計画策定における
ワークショップ



「タウンミーティング」



ところざわほっとメール ぜひ、ご登録のうえ、ご活用ください！

「ところざわほっとメール」は、所沢市が行っている「直接、あなたに、メールで、情報を届ける」サービス（メール配信サービス）のことです。

防災や防犯といった人命にかかわる情報をはじめ、人材募集やレジャー・観光情報なども含めた市からのお知らせなど、幅広い情報を、あなたが登録した携帯電話やパソコンにEメールで届けます。

特に防災情報は、総務省のJ-ALERTとも自動連携・配信しているので、大きな地震などから身を守ることに役立ちます。

ところざわほっとメールに登録するには？

hotmail@tokorozawa-hotmail.jp へ空メールを送信してください。
携帯電話の方は、右のバーコードからメールアドレスを読み取り、空メールを送信することもできます。

※登録および情報配信は無料ですが受信する際の通信費は利用者の負担となります。



📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
市ホームページの年間アクセス※件数	千件	H25	H27	H28	H29	H30		
		10,790	10,890	10,940	10,990	11,040		

説明：市民との情報の共有化の状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の市ホームページ（全ページ）への年間アクセス件数です。
 目標値は、毎年度50千件の増加をめざすものです。

関連する基本方針 8-3-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
市の情報発信に対する満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		54	58	60	62	64		

説明：市政情報がわかりやすいか、十分に提供されているかを測る指標です。
 現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「所沢市では、広報ところざわ、ホームページ、ケーブルテレビ、メールマガジンなどで市政情報をお届けしていますが、あなたはこれらの媒体から必要な情報を得られていると感じますか」に対し、「十分感じる」「まあまあ感じる」と答えた人の割合です。
 目標値は、平成30年度までに10ポイントの向上をめざすものです。



関連する基本方針 8-3-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
市民参加のしくみの認知度	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		55.9	現状値以上					

説明：市民が市政に参加するさまざまな機会（参加のしくみ）の認知度を測る指標です。
 現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「所沢市では、市民の皆様が市政に参加できるような、様々な機会（市民参加のしくみ）を設けていますが、次の中であなたがご存じのものはありますか」に対し、知っているしくみを答えた人の割合です。
 目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。



関連する基本方針 8-3-2

教えて！
ところん



市民参加条例ってなあに？

「所沢市市民参加を進めるための条例」は、市政に参加する際のルールを定めるとともに、市民等がまちづくりに主体的に関わる活動を促進することをめざして制定されました。

条例では、**市政への参加の具体的な方法**のほか、**参加の手続**、**市民の役割**などについて述べられています。

また、子どもの参加についても、年齢に応じた役割を進めることとしています。市では、この条例を活かして、これまで以上に市民参加を進めていきます。

※アクセス…コンピュータでホームページなどに接続すること。



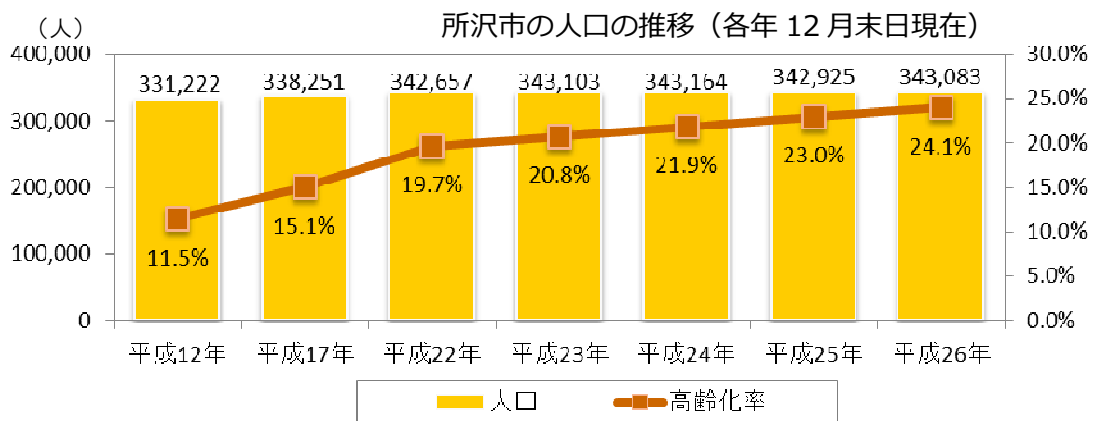


人口減少時代の到来！

人口問題や少子高齢化は全国的に生じている問題で、国全体の動向と比較すると、所沢市は人口のピークが3年程度遅れており、高齢化率*も約2%程度低い状態です。

しかし、平成23年10月に34万3千人を突破し、これまで横ばいが続いた所沢市の人口は、平成25年度には転出数が転入数を若干上回るなど、徐々に減少傾向になりつつあります。

日本創生会議の人口減少問題検討分科会では、2040年までに女性人口が5割以下に減少する「消滅可能性都市」として、896の自治体が示されました。所沢市は該当しませんが、このようなことなどから、人口問題に関心が高まるとともに対策が必要とされています。



～ まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて ～

“待たなし”の人口減少問題や地方の活力再生といった課題に対して、国と地方が一体となって取り組んでいくため、日本の人口の現状と将来の姿や目指すべき方向を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と今後の目標や施策の基本的な方向、具体的な施策を提示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が国により策定されました。

本市においても、この長期ビジョンと総合戦略を勘案しつつ、市の特性を踏まえた「地方人口ビジョン」と地域の資源や市の特色を生かした「(仮称)所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(期間:平成27年度～平成31年度の5年間)」を策定し、地域での安定した雇用の創出や若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえること、時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守ることなどに努めていきます。

子育てするなら
ところざわ♪



※高齢化率…65歳以上の高齢者人口(老年人口)が総人口に占める割合のこと。

